

2027 年度
大学院（修士課程）
入学試験要項

文学研究科

10 月期

2 月期

英語教育実践研究（千駄ヶ谷キャンパス）

10 月期

3 月期



津田塾大学

TSUDA UNIVERSITY

大学院の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

津田塾大学大学院は、学部の教育の基礎の上に専門学術の理論および応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展と人類の福祉に寄与し、社会に貢献することを目的として、文学研究科、理学研究科、国際関係学研究科を設置し、高度な専門性、研究能力を持った研究者を育成しています。

本大学院では、この目的と教育課程をよく理解し、それぞれの研究科の教育課程を履修するために必要な学力を備え、研究を進めるのにふさわしい研究テーマと能力をもつ女性を広く受け入れます。

【文学研究科 英文学専攻】

本研究科では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育、英語教育実践研究の専門分野において、さまざまな経歴・年齢層の学生が協力し、切磋琢磨しながら、研鑽を積んでいます。伝統と高い研究水準を誇る本研究科は、これらの分野における研究をさらに深めようと志す女性にとって理想的な環境を提供しています。

[修士課程]

修士課程では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育、英語教育実践研究の各専門分野において、幅広い専門的知識と英語で学術的に論じる力を獲得して、それぞれの研究分野における研究能力および高度な専門的職業に必要な能力を養うことを目指す者を広く受け入れます。

また、現職教員研修プログラムでは、研修期間やサバティカル制度を利用して、修士課程を修める意欲のある現職教員を受け入れます。

英語教育実践研究では、英語教育に関わるさまざまな教育機関において仕事を続けながら確実な実践力・研究力を身につけ、教育現場を改善・向上させていく意欲のある学生を広く受け入れます。

[後期博士課程]

後期博士課程では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育の専門分野における深い専門的知識と英語で学術論文を執筆する力を修得し、自立した研究者として学問研究を続けていくこと、あるいは高度な専門的職業に必要な研究能力と豊かな学識を養うことを目指す者を広く受け入れます。

- ・一度提出された書類は返却しません。
- ・入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○=本学卒業者、他大学卒業(見込)者

◎=本学卒業見込者

○	◎	①入学志願票(本学所定用紙)【様式1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や可否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。 (国内の住所に限ります。) ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②卒業(見込)証明書(外国の大学出身者は、学位記等学位の取得を証明する書類)
○	◎	③成績証明書 在籍したすべての大学について提出してください。
○	◎	④受験票・写真票(本学所定用紙)【様式2】 ※縦4cm×横3cmの写真(無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入)を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
高等学校・中学校の現職教員(出願資格5)のみ提出 ⑤在職証明書及び受験承諾書(所属機関の長の証明したもの)		
外国語母語話者で、日本以外の国の大学出身者のみ提出 ⑥日本語能力試験N1の認定書		
外国の大学出身者のみ提出 ⑦出身大学の要覧		

入学検定料

30,000 円

振込用紙(本学所定用紙)【様式2】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、p.12の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

2026年10月3日(土)

試験科目・時間

英語 9:00~10:40	専門 11:00~12:40	13:30~(予定)
英文和訳、和文英訳、英作文	共通問題、小論文	面接

試験会場

本学(小平キャンパス)

筆記試験受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験当日、試験開始20分前までに所定の試験室に入室、着席してください。
3. 計算機・辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。
4. 携帯電話等は電源を切り、カバンの中にしまってください。

5. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
6. 入学試験実施に際しての対応については、p. 11 をご参照ください。

合格発表

2026 年 10 月 9 日(金) 合格結果は郵送（速達）で通知

合格結果は郵送（速達）で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続

合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

- 第 1 次入学手続 2026 年 10 月 23 日(金)（収納受付日有効）
上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」（所定用紙）を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票 A」（銀行の収納印のあるもの）は、第 2 次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。
- 第 2 次入学手続 2027 年 3 月 25 日(木)（消印有効）
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第 1 次入学手続時に第 2 次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2027 年 3 月 31 日(水)（郵送必着）までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金を返還します。

- ・ 出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・ 一度提出された書類は返却しません。
- ・ 入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○＝本学卒業者、他大学卒業（見込）者

◎＝本学卒業見込者

○	◎	①入学志願票（本学所定用紙）【様式 1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（国内の住所に限ります。） ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②卒業（見込）証明書（外国の大学出身者は、学位記等学位の取得を証明する書類）
○	◎	③成績証明書 在籍したすべての大学について提出してください。
○	◎	④受験票・写真票（本学所定用紙）【様式 2】 ※縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
○	◎	⑤卒業論文 （あるいはそれに相当するもの。英語または日本語で書かれたもの。その他の言語の場合は事前に問合せること。） 正 1 部、複写 1 部 本学卒業見込者も、学芸学部事務室への卒業論文の提出とは別に出願期間内に本学入試課へ提出すること。
○	◎	⑥上記論文の概要（A 4 判で日本語 1000 字以内） 正 1 部、複写 1 部
高等学校・中学校の現職教員（出願資格 5）のみ提出 ⑦在職証明書及び受験承諾書（所属機関の長の証明したもの）		
外国語母語話者で、日本以外の国の大学出身者のみ提出 ⑧日本語能力試験 N 1 の認定書		
外国の大学出身者のみ提出 ⑨出身大学の要覧		

入学検定料

30,000 円

振込用紙（本学所定用紙）【様式 2】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、p. 12 の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

2027 年 2 月 16 日（火）

試験科目・時間

9:30～11:00	13:00～
小論文（英語）	面接

試験会場

本学 (小平キャンパス)

筆記試験受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験当日、試験開始 20 分前までに所定の試験室に入室、着席してください。
3. 計算機・辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。
4. 携帯電話等は電源を切り、カバンの中にしまってください。
5. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
6. 入学試験実施に際しての対応については、p. 11 をご参照ください。

合格発表

2027 年 2 月 26 日 (金) 合格結果は郵送 (速達) で通知

合格結果は郵送 (速達) で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続 合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

第 1 次入学手続 2027 年 3 月 12 日 (金) (収納受付日有効)
上記期日までに「入学申込金 (入学金相当額) (所定用紙) を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票 A」(銀行の収納印のあるもの) は、第 2 次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。

第 2 次入学手続 2027 年 3 月 25 日 (木) (消印有効)
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第 1 次入学手続時に第 2 次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2027 年 3 月 31 日 (水) (郵送必着) までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費 (授業料・施設設備費) ・その他の納入金を返還します。

〔文学研究科〕 英語教育実践研究（千駄ヶ谷キャンパス）

募集人員

英文学専攻 英語教育実践研究 若干名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する女性

1. 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院において、大学卒業と同等以上の学力があると認められた者

- ・出願資格 1 に定める「大学」とは、学校教育法に基づく日本の大学のことで、それ以外の大学を卒業した者は、10 月期の場合は 7 月中旬までに、3 月期の場合は 12 月中旬までに本学入試課に必ずお問合せください。
- ・出願資格 2、3、4 で出願する場合は、本研究科にて出願資格審査を行いますので、10 月期の場合は 7 月中旬までに、3 月期の場合は 12 月中旬までに本学入試課に必ずお問合せください。

選考基準

本研究科で研究を進めるのにふさわしい研究テーマと能力をもち、特に本研究科を希望する理由があると認められた者を選抜します。

選考方法

書類選考、筆記試験、及び面接（日本語・英語）による総合判定を行います。

出願期間

10 月期	2026 年 9 月 1 日(火) ～ 2026 年 9 月 11 日(金) (必着)
3 月期	2027 年 2 月 8 日(月) ～ 2027 年 2 月 25 日(木) (必着)

窓口受付は土曜、日曜、祝日を除き、9:00～11:15 及び 12:15～16:00 の間、小平キャンパスで扱います。

※受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にはできるだけ早く本学入試課に連絡してください。（ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。）

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべて A4 サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】を A4 用紙にカラー印刷したものを市販の角形 2 号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送、または本学小平キャンパス入試課窓口[※]に直接提出してください。

出願書類

- ・出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・一度提出された書類は返却しません。
- ・入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○＝本学卒業者、他大学卒業（見込）者

◎＝本学卒業見込者

○	◎	①入学志願票（本学所定用紙）【様式 1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や可否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。 （国内の住所に限ります。） ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②卒業（見込）証明書（外国の大学出身者は、学位記等学位の取得を証明する書類）
○	◎	③成績証明書 在籍したすべての大学について提出してください。
○	◎	④受験票・写真票（本学所定用紙）【様式 2】 ※縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
外国語母語話者で、日本以外の国の大学出身者のみ提出 ⑤日本語能力試験N1の認定書		
外国の大学出身者のみ提出 ⑥出身大学の要覧		

入学検定料

30,000 円

振込用紙（本学所定用紙）【様式 2】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。
※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可
いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、p. 12 の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

10 月期 2026 年 10 月 18 日（日）

3 月期 2027 年 3 月 7 日（日）

試験科目・時間

英語 9:00～10:30	専門 10:50～12:10	13:30～（予定）
<筆記試験> 英語エッセイ・ライティング	<筆記試験> 英語指導の実践力を問う問題	面接（日本語・英語） 一般的な内容及び英語教育実践について

試験会場

本学（千駄ヶ谷キャンパス）

筆記試験受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験当日、試験開始 20 分前までに所定の試験室に入室、着席してください。
3. 計算機・辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。
4. 携帯電話等は電源を切り、カバンの中にしまってください。
5. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
6. 入学試験実施に際しての対応については、p. 11 をご参照ください。

合格発表

10月期 2026年10月23日(金)

3月期 2027年3月12日(金)

合否結果は郵送で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、合否に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続 合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

10月期

第1次入学手続 2026年11月6日(金) (収納受付日有効)
上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」(所定用紙)を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票A」（銀行の収納印のあるもの）は、第2次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。

第2次入学手続 2027年3月25日(木) (消印有効)
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

3月期

2027年3月25日(木) (消印有効)
上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」及び「学費その他の納入金」を振込み、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第1次入学手続時に第2次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2027年3月31日(水) (郵送必着) までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金を返還します。

入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 受験環境について

できる限り、公平で静ひつな受験環境の確保に努めますが、やむを得ず、以下のような対応をとることがあります。

①生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。

《生活騒音の例》

- ・風音、雨音、雷鳴
- ・航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・通過する緊急車両のサイレン
- ・工事の音
- ・廃品回収や物売りの類、およびイベント・選挙等のアナウンス
- ・動物の鳴き声
- ・空調や照明等、試験会場となる施設が通常発する音

・他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、^{はな}涙をすする音、筆記具を使用する際の音等）

②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験室外に持ち出し、入試本部で保管することがあります。

③試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮いたしません。

④試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。

⑤隣席の受験者がトイレに行く場合や、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと判断した場合には、試験監督者の指示により、席を立っていただくことがあります。またその場合でも、試験時間の延長はいたしません。

⑥他の受験者に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

2. 不可抗力による事故等について

大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

3. 受験者への連絡について

上記2. の措置をとる場合の受験者への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。

<https://www.tsuda.ac.jp/>

4. 感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

5. その他の注意

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

入学検定料返還について

以下の1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- (2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課 (Tel. 042-342-5120) に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を締切日までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

- (1) 入学検定料返還申請書 (所定用紙に必要事項を記入)
- (2) 入学検定料振込領収書のコピー

3. 申請締切日 (郵送必着)

修士課程 (10月期) / 修士課程 英語教育実践研究 (10月期) 2026年11月20日 (金)
 修士課程 (2月期) / 修士課程 英語教育実践研究 (3月期) 2027年3月11日 (木)

4. 返還時期

修士課程 (10月期) / 修士課程 英語教育実践研究 (10月期) 2026年12月末 (予定)
 修士課程 (2月期) / 修士課程 英語教育実践研究 (3月期) 2027年3月末 (予定)

被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のをできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。

入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) を通じてお知らせしますので、確認してください。

学費・その他の納入金

2027年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は10月初旬に決定します。

文学研究科・国際関係学研究科 (予定)

(単位:円)

	入学手続時納入		10月中納入		初年度合計
入学金	200,000		—		200,000
授業料	前期	294,500	後期	294,500	589,000
施設設備費	前期	82,500	後期	82,500	165,000
計	577,000		377,000		954,000

理学研究科 (予定)

(単位:円)

	入学手続時納入		10月中納入		初年度合計
入学金	200,000		—		200,000
授業料	前期	324,500	後期	324,500	649,000
施設設備費	前期	91,000	後期	91,000	182,000
計	615,500		415,500		1,031,000

<修士課程>

本学学部卒業者及び本学学部卒業見込者の入学金は 100,000 円です。

<後期博士課程>

1. 本学学部卒業者及び本学修士課程修了者の入学金は、100,000 円です。
2. 本学修士課程修了見込者の同一研究科後期博士課程入学金は、無料です。

1. 在学中の学費について

大学院（修士課程・後期博士課程）の在学中の学費は、定額方式を適用します。

2. その他の納入金について

津田塾大学同窓会費積立金 50,000 円（終身会費で初年度のみ納入、本学卒業・修了者及び本学卒業・修了見込者は不要）

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続と、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託することがあります。

また、入学手続時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続のため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

トランスジェンダー学生(性自認による女性)の出願について

津田塾大学では、2025年4月に入学する学生が受験する入学試験より、女子大学で学ぶことを希望するトランスジェンダー学生(性自認による女性)にすべての学部、大学院研究科にて受験資格を認めることといたしました。詳細については本学公式 Web サイトをご確認ください。

本学公式 Web サイト：https://www.tsuda.ac.jp/admissions/exam_transgender.html